

43 五知～金剛證寺

金剛證寺へ真南から直登する
シイの森が続く尾根道。
足元にたたずむ町石地蔵。
古の信仰を感じ、自然を満喫するコース。



神宮域境界の三十四町石。

コース ● 全行程…約7.9km ● 所要時間…約3時間30分

近鉄五知駅	30分 2km	山之神	40分 1.4km	境界尾根	50分 1.5km	山伏峠
	50分 1.6km	彦ヶ滝コース分岐	40分 1.4km	金剛證寺		

円空仏の里から神宮域境界の尾根へ

お伊勢参りの後、必ず朝熊山の金剛證寺へ参ったという「岳参り」は、伊勢方面からの道がよく知られている。しかし、ふもとの各集落からさまざまなルートがあった。主に山脈の南側から参る信者でにぎわった五知からの山伏峠コースを、道脇にたたずむ町石地蔵に導かれて歩く。

五知駅から立派な石垣が並ぶ下五知の集落を進む。金剛證寺下の伊勢志摩スカイラインまでの67町(1町=約109 m^2)には、3町ごとに町石地蔵が置かれている。橋を渡って集落を抜けると、左手に七町石がある。上五知には、集落を見下ろす高台に薬師堂があり、円空作と伝わる鈍彫りの薬師三尊が祀られている。

お堂下の掘割を抜けるとみかん畑になり、山之神が祀られている二股を右へ進む。20 m ほど先の右側から金剛證寺へ向かう細い山道が始まり「左山みち、右たけみち」と刻まれた道標地蔵が建っている。道は、シイの木に覆われた岩盤を登るが、落ち葉が堆積しており、蒸し暑い季節になるとヤマ

ビルが出るので、虫除けは用意しておこう。道は徐々に傾斜を増し、三十四町石がある尾根に出る。「従是神宮域」と刻まれた石柱が建ち、神宮域との境界だったことを示している。休憩にもいい場所だ。

山伏峠展望台からの大パノラマ

境界尾根からは、緩やかにアップダウンを繰り返しながら進む。三十七町石を過ぎると右側に、バクチ岩と呼ばれる、4~5 m ほどの平たい石が横たわっている。岳参りの人々を相手にバクチを打っていた場所と言われ、晴れた日には、木立の間から菅島や神島が望める。

森に覆われた山伏峠(525 m)を越え、しばらく進むと、右手に展望台を示す標識がある。道らしい道はないが、30 m ほど木立の間を直進すると、尾根から突き出した岩場に出る。北に朝熊山、東に伊勢湾が一望できるポイントで、是非、立ち寄りたい。

五十八町石で神宮域の彦ヶ滝から来る道と合流し、やがて、伊勢志摩スカイラインに出る。車道を横切って参道を進めば、金剛證寺の仁王門が見えてくる。



尾根から張り出したバクチ岩。



山伏峠展望台。



円空仏を祀る薬師堂。



金剛證寺仁王門。



● 問い合わせ / 志摩市観光戦略室 ☎0599・44・0005